

Q. CCCからの提案書  
なぜ市民が知ることができないのか

A. 市の条例に基づき対応している



ここを聞きました

- Uターンを促すための「ふるさと帰奨学金」制度の創設について
- 高梁市立図書館指定管理者業務要求水準書とCCCから提出されている高梁市新図書館提案書について
- 旧朝霧温泉「ゆ・ら・ら」の場外馬券場転用のための売却取りやめについて

情報開示について

宮田 CCCからの提案書をチェックした委員会の議事録や、提案書自体の情報開示請求を行ったが開示されないのはなぜか。

教育次長 法の規定と市の条例のつとつて対応した。

宮田 図書館の運営管理について、市民は1億5000万円を真水で負担することになるかもしれない。その重要な判断材料となる行政文書をなぜ市民が知ることができないのか。

教育長 市の条例に基づき対応している。

市長 適正に示すべきものがあれば開示する。

旧「ゆ・ら・ら」について  
宮田 旧「ゆ・ら・ら」の対応策についてはゼロベースで考えるのか。

前回の市長答弁が分かりにくかったので再度確認する。

市長 「分かりにくい」とのことだが、何が分かりにくいのか理解できない。旧「ゆ・ら・ら」については手続きを踏んできた。選考委員会で売却先を決定し、議会の全会一致で売却の議決をいただいた。残念な結果として、宮田議員を筆頭とする、「売却に関する意見書」が出てきて、先方が撤退された。私は場外馬券場の収入を福祉に使うことを明言し市民理解を得るために説明会を開いた。逆に宮田議員の説明会は聞いたことがない。どこでどういう意見を聞かれたのかも全く分からない。そういう中で、「分からん」と言われても、私も分からない。終わったのだから。だからゼロベースだ。

委員会報告

総務文教委員会

「高梁市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報等の提供に関する条例」「高梁市税条例等の一部を改正する条例」「平成27年度高梁市一般会計補正予算(第4号)」

・どの議案もマイナンバー制度が含まれている。この制度は国が国民を管理しやすくすることを目的とし、多額の税金が投入されている。セキュリティの問題もあることから反対する。

などの意見が出されましたが、採決で原案のとおり可決されました。

「朝霧温泉ゆ・ら・らの行政対応について第三者による検証実現の陳情書」

・この問題を前に進める意味から、

陳情を真摯に受け止めるべき。

・第三者委員会のあり方をもう少し考える必要がある。

・検証するのなら建設当時から行う必要がある。

・趣旨が偏った内容にも受け取れ疑問を感じる。

・これまでの経緯・経過を次に生かしていくために議論することが必要。

・などの意見が出され、採決で継続審査となりました。

「安法制の廃止を求める陳情」

・安法制制のもと、自衛隊の海外派兵にもつながるので、採決すべき。

・国土や国民を守ることは国の責務と考える。陳情では、安法制は違憲としているが、市議会の見解として表明することには疑問を感じる。

などの意見が出され、採決で不採択となりました。

Q. 川上景年先生の顕彰活動を

A. インターネットも活用しながらピーアールに努める



ここを聞きました

- 川上景年記念館について
- 観光施設について
- 猫友会について
- こども園、保育園、幼稚園での看護師採用について

川上景年記念館について

大月 川上景年先生の故郷に記念館を設立し大道書学院との交流が続いているが地域にピーアールが足りない。今後の考え方を問う。

教育次長 景年先生の顕彰活動として平成11年から25年まで15回、歴史美術館で作品展を開催している。今年は松山踊りの期間中、市役所一階ホールに記念館所蔵の作品を展示し、多くの方にご覧いただいた。

大月 景年先生の遺品が記念館にたくさんあるが、皆さんにお見せしたらどうか。

教育次長 記念館では来館者にできるだけ多くの作品を見ていただくため、年1回の展示替えをしている。常に新しい作品を目にしていた

だき、その都度展示の工夫をしている。今後も大道書学院や書道愛好団体、備中町書道文化交流推進協議会にもお願いし、インターネットも活用しながらピーアールに努める。

保育園に看護師を採用しては

大月 子どもが傷病時の緊急呼び出しの際、看護師がいれば医療の手伝いができるのでは無いか。

健康福祉部長 保育中の体調不良の際は、緊急連絡で医療機関への受診をお願いしている。子育て中の働く方が、できる限り休みをとったりやすい社会環境の醸成が最も必要であり、「パパ・ママ・子育て応援事業」を一層推進し、子育てに理解のある企業をふやしていくことで、子育てをしやすいまちづくりを進めていく。

産業経済委員会

「水道料金引き上げに反対する陳情」

・陳情の趣旨を踏まえて今後対応していくという意味で採択すべき。

・値上げについてはやむなしと考える。

・水道加入者の減少のなか、使用料は上げざるを得ない。

・上水道と簡易水道の統合に伴う料金改定には、審議会から答申が出され、市も慎重に検討すると表明しているの、採択までする必要がない。

などの意見が出され、採決で不採択となりました。

市民生活委員会

「高梁市国民健康保険税条例及び高梁市介護保険条例の一部を改正する条例」  
「平成27年度高梁市一般会計補正予算(第4号)」

・マイナンバー制度は、個人情報の漏洩問題が払拭されていない。市民にほとんど利益のない制度であるので反対する。

などの意見が出されましたが、採決で原案のとおり可決されました。

「マイナンバー」って?

マイナンバー(個人番号)とは、国民1人ひとりが持つ12桁の番号のことです。今後、税や年金、雇用保険などの行政手続きに使用します。

マイナンバーカード(個人番号カード)は、公的な身分証明書として利用できます。これは

個人で申請して取得するもので、送られてくる通知カードとは別のものです。

欧米ではすでに多くの国が利用しており、最大のメリットは行政の効率化ですが、情報の漏洩やプライバシーの侵害を心配する声もあります。